

⑤ 教育環境づくりへの生徒の主体的な参画の推進

- ・生徒たちが学校生活を送る上でのルールづくりや学校施設・設備の整備等にあたり、生徒会による発案や意見を述べる機会を設けるなど、魅力ある学校づくりに主体的・積極的に参画できるような取組を推進する。

(8) 発信力の強化

府立高校を取り巻く地域とのつながりを大切に、日頃から地域と連携した府立高校づくりに努めるとともに、求められる情報を生徒・保護者、中学校のみならず、広く府民に対しても発信し、高校の取組について知ってもらうことが大切である。

また、生徒募集においては、各高校の魅力や特色を正しく、効果的に中学生や保護者、中学校教員等に発信し、理解を深めてもらう必要がある。

子どもたちが早い段階から府立高校への興味や関心を高め、多様な選択肢の中から目的意識を持って学校選択ができるように、小・中学校との連携や高校生の活躍を発信する機会を積極的に設けるとともに、発信方法の工夫を図ることが重要である。

こうした取組を続けることで、小・中学校におけるキャリア教育^{※19}の充実にもつなげ、児童生徒や保護者にとって、主体的な高校選択となることが望まれる。

【目指す方向性】

① 中学校等との相互交流、連携の強化

- ・公立同士の強みを活かして、小・中学校教員と高校教員による授業見学等の相互交流を一層促進するとともに、府立高校と地域の市町(組合)教育委員会との連携の充実を図る。

② 府立高校の情報や魅力の効果的な発信

- ・情報や魅力発信については、ホームページやオープンスクールなど従来の取組だけでなく、部活動や職業学科などの魅力をリアルに伝える学校説明会や体験等の充実、校風やイメージを効果的に伝える紹介動画等の活用を推進する。
- ・府立高校生の活躍する姿を積極的に発信するため、高校生と小・中学生との交流活動や、SNS・マスメディア等の積極的な活用を進める。
- ・広域的で効果的な情報発信のため、府教育委員会のホームページやスクールガイドなどの内容の見直しを図る。

※19 一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を施す教育。

2 学科の特色化・魅力化の推進

(1) 魅力のある新しい普通教育の推進

これまでから、普通科においては特色あるコースを、普通科系専門学科においては教科等を横断的に学ぶ学校設定教科・科目の設置や最先端の研究に触れる機会を設けるなど、魅力ある学びを実現し、大学等進学や就職など生徒の多様な希望進路の実現に应运ってきた。

また、以前の類・類型制度の発展的解消を行った後も旧第Ⅲ類の設置目的を念頭に、特定の教科・科目の履修に重点を置き、生徒の個性の伸長等を図る教育課程を設定する普通科スポーツ総合専攻と美術・工芸専攻も設けている。

加えて、様々な名称の普通科系専門学科も多く的高校に設けているが、こうした普通科教育等に関する多様な特色内容が、複雑でわかりにくいという意見や、進学先の判断として学科より学校の特色で選んでいるといった意見がある。

一方、国の普通科改革においては、特色化や多様なニーズへの対応として、学際領域に重点的に取り組むものや地域社会に重点的に取り組むものなどが、新しい普通教育を主とする学科として示されたが、これらの学科については、従来の普通科等で既に取り組んでいる内容も多く、その違いがわかりにくい側面がある一方で、現在的高校の特色を、名称も含めわかりやすく発信できるというメリットもある。

これらのことを踏まえ、魅力のある新しい普通教育を目指して、現在設置している普通科や普通科系専門学科の在り方について検討する必要がある。

【目指す方向性】

① 普通教育における魅力の向上

- ・これまで培われた教育内容を深化させつつ、社会の変化に対応した魅力のある新しい普通教育の推進に向け、学科やコースの名称の整理、新たな学科への再編などについて検討を進める。

② 普通科、普通科系専門学科の在り方の検討

- ・普通科と普通科系専門学科が併設されている高校においては、改めてそれぞれの学科の教育内容等を検証し、学科の在り方を検討する。

③ 効果的な情報発信

- ・各高校の学科やコース等での学びの魅力や特色について、中学生や保護者等への効果的な情報発信を図る。

(2) 質の高い職業教育と総合学科における学びの充実

地域の持続的な成長を支える最先端の職業人育成を担っていくために、最前線にある地域の産業界で直接的に学ぶことができるよう、産業界と高校が一体となった

質の高い専門教育を推進していく必要がある。

近年、急速な技術革新、産業構造や就業形態の変化、グローバル化など、社会経済状況が大きく変化しており、新しい時代における社会的要請や実際の社会で求められる資質能力に対応した職業教育を進める必要がある。

特に、職業学科においては、即戦力として地域産業を支える人材の育成にとどまらず、高等教育機関等と連携した学びを深めてスペシャリストとなる人材の育成など、より質の高い職業教育を展開していくことが重要である。

また、総合学科においては、原則として1年次に学校設定科目「産業社会と人間」を履修することや、多様な科目から系列等に応じた科目を選択することが可能であることから、生徒の様々なキャリアデザインに添えていくことが求められるため、高等教育機関との連携や外部の専門人材の活用などを一層充実させていく必要がある。

【目指す方向性】

① 高等教育機関等との高度な連携の推進

- ・若手スペシャリスト人材を育成するために、高等教育機関等と高校3年間の学びを超えた高度な連携を進める。
- ・総合学科における特色ある科目や教育活動の充実に向け、高等教育機関等との連携を進める。

② 企業や地域との連携の強化

- ・生徒が地元企業や実際の社会の状況を深く理解できるように、長期間にわたるインターンシップなど、企業等との連携を強化する。
- ・職業学科や総合学科における地域貢献に関わる取組を支援するシステムを構築する。
- ・総合学科における開設科目の多様さという特色を活かした教育活動を充実させるため、外部人材や地域資源の活用を推進する。

③ 社会で求められる資質能力に対応した職業教育の充実

- ・学習意欲や目的意識の高い生徒が切磋琢磨できる環境を確保し、職業学科における学びの多様性と専門性を深めるため、学科やコースの名称の整理、新たな学科への再編などについて検討を進める。

④ 効果的な情報発信

- ・学科での学びの魅力や特色について、中学生や保護者等への効果的な情報発信を図る。

3 多様なニーズに対応した柔軟な教育システムの充実

(1) 定時制・通信制教育の充実

不登校経験がある生徒や特別な支援を要する生徒など、多様な生徒の学習ニーズに対応する学びの場として、京都フレックス学園構想に基づく柔軟な教育システムのさらなる充実を図るとともに、スポーツなど特定分野の活動等を中心としながら自分のペースに応じた高校生活を望むなど、生活スタイルや価値観等の多様化に対応した新たな教育環境の整備も必要である。

また、様々なメディアを利用した指導や自分のペースで学ぶことができるといった通信教育の特長を活かして、多様性のある学習機会や教育システムの構築など、新たな魅力のある府立高校づくりが求められる。

【目指す方向性】

① 個別最適な学びの充実

- ・ 定時制課程（昼間・夜間）に求められているニーズを検証し、個別最適な学びの機会を保障する。
- ・ 京都フレックス学園構想に基づく柔軟な教育システムや社会的自立に向けた支援をさらに充実させる。

② 異なる課程の併修による柔軟な教科・科目等履修制度の構築

- ・ 通信制課程と定時制課程・全日制課程との併修など、生徒の学習ニーズと課程の特長を活かした、柔軟な教科・科目等履修制度を検討する。

③ 新しい学習スタイルの通信制課程の設置

- ・ ICTを活用したオンライン授業と通学による対面指導を組み合わせた、これまでの枠にとらわれないハイブリッド型の新しい通信制課程を検討する。

④ 多様なニーズに応じた教育的支援の充実

- ・ 一人一人の生徒の教育的ニーズや生活スタイル等に応じた個別最適な学びを支援するため、特別支援教育の専門性を持つ教員やスクールカウンセラーの配置、ICTの活用による学習支援等を充実させる。

⑤ 効果的な情報発信

- ・ 各高校の学びの魅力や特色について、中学生や保護者等への効果的な情報発信を図る。

(2) 全日制課程における柔軟な教育システムの構築

義務教育段階で個性や能力が十分に発揮できていなかった生徒や、不登校等の理

由で中学校から高校への接続が難しい生徒、基礎的・基本的な学力の定着が必要な生徒など、全日制課程においても在籍する生徒は多様化している。

また、全日制課程に入学後、学習ニーズや生活スタイル等とマッチングせず、定時制課程や通信制課程等へ進路変更する生徒も存在している。特に、生徒の不登校や中途退学等に対しては、市町村や中学校、福祉機関との連携や、専門人材によるネットワークの活用など、組織的な対応や連携が重要である。

生徒の学び直しや新たな学校生活への挑戦等に対して、学習意欲を高め、主体的に学びに向かえるように支援する工夫が求められている。

【目指す方向性】

① 基礎的・基本的な学力の確実な定着に向けた柔軟な教育システムの構築

- ・卒業までに修得させる単位数の見直しや、オンラインでの授業や課題提出等による科目の履修（認定）に関わる条件の弾力化等について研究し、学び直しの機会や基礎学力等の確実な定着を保障する、安心して学べる柔軟な教育システムの構築に向けて検討する。

② 個性や才能を伸ばす柔軟な学習スタイルの構築

- ・生徒が自身の個性や特定分野の特異な才能を伸ばすことなどを中心としながら、高校生活を送ることができる柔軟な学習スタイルの構築に向けて検討する。

③ 普通科と専門学科の併設等を活かした魅力づくり

- ・普通科と専門学科の併修や学科の異動を可能にするなど、府立高校の強みを活かした魅力ある高校づくりを検討する。
- ・キャリア教育の視点を強化し、社会人基礎力（基本的生活習慣、自己表現力、対人関係スキル、基礎体力など）の育成を重点的に実践する高校など特色ある高校の在り方を検討する。

(3) 特別支援教育の充実

義務教育段階における特別支援教育の推進や特別な支援を要する児童生徒の増加を踏まえ、府立高校におけるインクルーシブ教育システム^{※20}の構築に向け、通級による指導の充実や特別な支援を要する生徒と共に学ぶ新たな仕組みづくりが求められている。

共生社会の進展に向けて、障害や特性の有無に関わらず、すべての生徒がお互いを尊重し合い、協働する教育活動を通じて、生徒がそれぞれの自己実現を図ることができるよう、特別支援学校等と連携し、自立と社会参加に向けた学びの場を提供していく必要がある。

これらの仕組みづくりや教育活動等の推進のために、教員研修の充実などにより、特別支援教育の専門的な知識を持つ教員を育成していくことが重要である。

【目指す方向性】

① 特別支援学校高等部と連携したインクルーシブ教育の環境の整備

- ・特別支援学校高等部を府立高校に併設するなど、障害の実態等に応じた指導や、同世代の生徒による共同学習や共通の課外活動等が実施できる府立高校ならではの環境整備を進める。

② 高校における特別支援教育の推進

- ・府立高校への特別支援学校教員の配置や、府立高校と府立特別支援学校との連携により、障害の実態や程度に応じた高校教育と特別支援教育との複合的な教育システムや特別支援学級の設置などを検討するとともに、教員研修の充実等により、府立高校における教員の専門性の向上を図る。

③ 通級による指導の充実

- ・小・中学校から高校、高校から高等教育機関や企業等へと、必要な支援を途切れることなく確実に移行するシステムの構築に向けて、地域の通級指導の拠点校に対象生徒が通う他校通級方式や、特別支援学校（地域支援センター）教員による巡回指導方式を取り入れるなど、通級による指導の充実を図る。

※20 人間の多様性の尊重等を強化し、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能にするという目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み。

Ⅲ 魅力ある府立高校づくりに向けた教育制度等の改革

Ⅰ 地域の実情等を踏まえた府立高校の在り方の検討

高校教育においては、教育活動全般にわたり、生徒が集団の中で多様な考えに触れ、切磋琢磨することを通じて資質能力をはぐくむために、一定規模の生徒集団による教育環境を整備することが求められるが、地域の実情や生徒の実態に即した指導などを行うにあたって、小規模校や小さな集団による学びの形態が望ましい場合もある。

また、社会情勢や時代の変化に応じた多様な学習ニーズへの対応や各地域の将来を支える人材の育成、地域社会の活性化への貢献など、地域創生の核となる府立高校の社会的役割への期待にも応えていく必要がある。

府教育委員会においては、平成 27 年度に「生徒減少期における府立高校の在り方検討会議」を設置し、府立高校の今後の在り方や活性化策について広く御意見をいただくとともに、地域別の懇談会を設置するなどして議論を重ね、その結果、令和 2 年度から丹後地域において学舎制の導入や京都フレックス学園構想に基づく新しい高校の設置といった再編を実施したところである。

学舎制は、多様な教育課程を編成し、将来の地域を支える人材を育成するといった高校の役割を果たすため、一定の生徒数、教職員数を維持するとともに、通学の利便性に配慮して、既設校の校舎を活用することを方針として導入し、ICTを活用した遠隔教育や合同部活動など、学舎間で連携した教育活動を展開している。

こうしたこれまでの成果も踏まえつつ、生徒にとって魅力と活力ある教育環境をどのように提供することができるかという視点とともに、高校が地域において果たしている社会的・教育的役割、生徒の通学の利便性や地域の実情等を踏まえて、今後の府立高校全体における、学校や課程・学科等の在り方を検討していく。

【目指す方向性】

① 魅力ある府立高校づくりに向けた再編整備の検討

- ・府立高校の再編については、生徒数の減少のみに着目した一律的・機械的な基準は設けないことを前提としつつ、府内全域を対象に、地域の実情等を考慮しながら検討する。例えば、交通の利便性が高く、選択できる高校の多い地域については、一定規模の教育環境の確保や、学科等の選択肢をバランス良く配置するといった視点からの再編も検討する。
- ・生徒の学習ニーズ等にしっかりと応えられるよう、柔軟な教育システムの充実、ICTを活用した新たな学びの推進等の視点を踏まえて、定時制・通信制課程の再編や再配置を検討する。

② 魅力ある高校づくりに資する学科再編の検討

- ・中学生の高校選択におけるニーズや、大学等への進学志向が高いといった府立高校の実情等も踏まえ、各高校に設置している学科の教育目標や教育内容などをわかりやすく整理する。

③ 魅力ある学びを活性化するための環境整備

- ・地域産業に関わる職業学科や部活動など、高校の魅力に応じて府内他地域や全国から積極的に生徒を募集できる制度や寮などの施設の整備を進める。

2 社会情勢等の変化に対応した入学者選抜の在り方の検討

社会情勢や中学生・保護者の高校選択におけるニーズ等の変化を見極めながら、入学者選抜の実施時期・日程や学科等によって異なる選抜方法（内容）、新しい学習指導要領の実施に伴う選抜の内容の在り方など、現行の入学者選抜制度の課題を検証・整理し、よりよい制度となるよう、関係機関と連携しながら検討を進める。

【目指す方向性】

① 入学者選抜制度の検証、見直しに向けた検討

- ・中学生が目的意識を持ち、主体的に高校を選択できるよう、現行の入学者選抜における前期・中期・後期選抜並びに特別選抜や全国募集等の成果と課題を検証・整理し、関係機関と連携しながらよりよい制度となるよう検討する。

Ⅳ 魅力ある府立高校づくりに向けた今後の進め方

令和時代に対応した魅力ある府立高校づくりの実現に向けて、本ビジョンに基づき、府教育委員会として、令和4年度中を目途に府立高校の「スクール・ミッション」を策定したいと考えている。その上で、各高校において、高校教育の入口から出口までの教育活動について、

①入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

②教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

③育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

の3つのポリシー（スクール・ポリシー）として体系的に整理する。

また、本ビジョンで示した内容の具現化に向けて、令和4年度以降に具体的な検討に入るが、府教育委員会独自で進められる教育内容等の充実、見直しなどについては、次年度以降、関係課と調整しながら、計画的、かつ、できる限り速やかに進めていく。

一方で、教育制度等の改革を含め、教育関係者や市町村、高等教育機関、企業等と協議しながら進めていくべきものや予算措置を伴うものなどについては、必要に応じて別途会議を立ち上げて検討する、あるいは、個別の実施計画を策定するなどして、進めていきたいと考えている。

こうした進め方により、多様な生徒一人一人を大切にし、すべての生徒が夢や希望を持ち、未来に向かっていきいきと学ぶことができる、魅力ある府立高校づくりを確実に進めていく。

<参考資料>

府立高校の在り方ビジョンの策定経過

Ⅰ 「府立高校の在り方ビジョン（仮称）検討会議」

京都府教育委員会における検討にあたり、外部有識者の意見を聴取するため、「府立高校の在り方ビジョン（仮称）検討会議」を令和3年5月に設置しました。

委員には、学識経験者や保護者の代表、市町（組合）教育委員会教育長の代表、企業関係者の方の他に、学校関係者として公立中学校及び府立高校の校長に参画いただきました。

<検討会議委員名簿>

（敬称略・50音順）

氏 名	役 職 等
座長 浅野 良一	兵庫教育大学大学院特任教授
青山 恵則	株式会社島津製作所執行役員・総務部長
岩場 利知	宇治市立東宇治中学校校長
大野 百合	京都府立高等学校PTA連合会顧問
奥水 孝志	舞鶴市教育委員会教育長
杉岡 秀紀	福知山公立大学准教授
出蔵 裕子	京都府PTA協議会会計
古川 知子	神戸親和女子大学副学長
細尾 萌子	立命館大学准教授
細野 吾	京都府立山城高等学校校長

※役職等は委員委嘱時点

<協議テーマ>

「令和時代に対応した京都府の高等学校教育のあり方」

論点①：府立高校としての存在意義・果たすべき社会的役割について
（協議①）

論点②：地域の実情等を踏まえた府立高校の在り方、特色化・魅力化について
（協議②・協議③・協議④）

論点③：時代の変化や生徒のニーズに応じた定時制・通信制の在り方について
（協議⑤）

<会議の開催状況>

回	開催日	協議内容等
第1回	令和3年5月7日	会議の論点や進め方、府立高校の現状説明等
第2回	令和3年6月29日	協議①：府立高校のスクール・ミッション（各高校の存在意義や社会的役割）の基本となる考え方
第3回	令和3年7月27日	協議① 協議②：少子化の進展と地方創生における高等学校の在り方
第4回	令和3年8月31日	協議② 「府立高校に関するアンケート調査」について
第5回	令和3年9月29日	協議② 協議③：地域の産業界を支える視点での専門学科の在り方 将来の地域を支える人材を育てるキャリア教育 協議④：高等教育機関との高度な連携による展開・グローバル人材の育成
第6回	令和3年10月18日	協議③・協議④ 協議⑤：個に応じた学びのための柔軟な教育システム
第7回	令和3年11月22日	中間案（素案）について
第8回	令和4年1月24日	最終案（素案）について

<学校視察の実施状況>

- 第1回 令和3年9月14日 府立北桑田高等学校
- 第2回 令和3年9月16日 府立京都八幡高等学校
- 第3回 令和3年10月4日 府立農芸高等学校、府立大江高等学校

2 主な関係機関での協議・意見交換

- 令和3年9月 京都府産業教育審議会会議
- 10月 京都府立高等学校PTA連合会との教育懇談会
- 11月 京都府PTA協議会との教育懇談会

3 府民意見の聴取（パブリック・コメント）

令和3年12月20日から令和4年1月14日にかけて、「京都府民意見提出手続（パブリック・コメント制度）」に基づき、府民の皆様から広く御意見を伺いました。

お寄せいただいた55名からの164件の御意見については、その趣旨を踏まえ府立高校の在り方ビジョンの策定の参考とさせていただき、「意見の要旨」と「意見に対する府の考え方」を公表しました。

府内地域別 公立・国立・私立高校設置状況

地域	市町村	府立高校	京都市立高校	私立高校
京都市 乙訓	北区	山城、清明	紫野	洛星
	上京区	鴨沂		同志社女子、平安女学院 京都美山(通)
	左京区	洛北、北稜		同志社、京都文教 東山、京都精華学園 ノートルダム女学院、京都芸術大学附属(通)
	中京区	朱雀	堀川、西京 銅駝美術工芸、京都堀川音楽	京都西洋、洛陽総合
	東山区		日吉ヶ丘	大谷、華頂女子 京都女子、京都国際
	山科区	洛東	16	一燈園
	下京区			京都産業大学附属、龍谷大学付属平安 京都つくば開成(通)
	南区	鳥羽	塔南	洛南
	右京区	嵯峨野、北嵯峨		京都先端科学大学附属、花園 京都外大西、京都光華
	西京区	桂、洛西		京都明德、京都成章
	伏見区	桃山、東稜 洛水、京都すばる	京都工学院、京都奏和	京都橘、京都聖母学院
			国立高校	
			京都教育大学附属	1
	向日市	向陽	1	京都西山
	長岡京市	乙訓、西乙訓	2	立命館
山城	宇治市	東宇治、莛道 城南菱創	3	立命館宇治、京都翔英 京都芸術
	城陽市	城陽、西城陽	2	
	八幡市	京都八幡、京都八幡(南)	2	
	京田辺市	田辺	1	同志社国際
	木津川市	木津、南陽	2	
	久御山町	久御山	1	
	精華町			京都廣学館
丹波	京都市右京区	北桑田	1	
	亀岡市	亀岡、南丹	2	
	南丹市	北桑田(美山)、園部 農芸	3	京都聖力タリナ
	京丹波町	須知	1	
中丹	綾部市	綾部、綾部(東)	2	
	福知山市	福知山、福知山(三和) 工業、大江	4	京都共栄学園、福知山淑徳 福知山成美
	舞鶴市	東舞鶴、東舞鶴(浮島) 西舞鶴	3	日星
丹後	宮津市	宮津天橋[宮津]、海洋	2	京都暁星
	与謝野町	宮津天橋[加悦谷]	1	
	京丹後市	峰山、丹後緑風[網野] 清新、丹後緑風[久美浜]	4	
		48校・学舎 5分校	京都市:9校 国立:1校	42校 (通信制単独校含む)

※令和3年6月作成(令和3年度入学者選抜実施校を掲載)

府内公立・国立・私立高校の設置学科等一覧 ①

地域	学校名	設置	全 日 制								定時制	通信制
			学科種別									
			普通科	普通科系専門	農業	工業	商業	水産	その他 (情報、福祉、体育、 音楽、美術、看護)	総合学科		
京 都 市 ・ 乙 訓	山城	府	単位制	文理総合 (単位制)								
	清明	府									昼間 二部	
	鴨沂	府	○									
	洛北	府	単位制	サイエンス (単位制)								
	北稜	府	○									
	朱雀	府	○								夜間	○
	洛東	府	○									
	鳥羽	府	単位制	グローバル (単位制)							夜間	
	嵯峨野	府	○	京都こすもす								
	北嵯峨	府	○									
	桂	府	○		植物クリエイト 園芸ビジネス							
	洛西	府	○									
	桃山	府	○	自然科学							夜間	
	東稜	府	○									
	洛水	府	○									
	京都すばる	府					起業創造 企画		情報科学			
	向陽	府	○									
	乙訓	府	○						スポーツ健康科学			
	西乙訓	府	○									
	府立計	19校	17	5	1	0	1	0	2	0	4	1
	紫野	市	○	アカデミア								
	堀川	市	○	人間探究 自然探究								
	西京	市		エンタープライジング								
	銅駝美術工芸	市							美術工芸			
	京都堀川音楽	市							音楽			
	日吉ヶ丘	市	単位制									
	塔南	市	○	教育みらい								
	京都工学院	市		フロンティア理数		プロジェクト工学						
	京都奏和	市									昼間 夜間 四部	
	市立計	9校	4	5	0	1	0	0	2	0	1	0
	京都教育大学附属	国	○									
	公立・国立合計	29校	22	10	1	1	1	0	4	0	5	1
	一燈園	私	○									
	大谷	私	○									
	華頂女子	私	○									
	京都外大西	私	○									
	京都光華	私	○									
	京都国際	私	○									
	京都産業大学附属	私	○									
	京都女子	私	○	ウイステリア								
	京都精華学園	私	○						美術			
	京都成章	私	○									○
	京都聖母学院	私	○									
	京都先端科学大学附属	私	○									
	京都橘	私	○									
	京都西山	私	○									○
	京都文教	私	○									

府内公立・国立・私立高校の設置学科等一覧 ②

地域	学校名	設置	全 日 制								定時制	通信制
			学科種別									
			普通科	普通科系専門	農業	工業	商業	水産	その他 (情報、福祉、体育、 音楽、美術、看護)	総合学科		
京 都 市	京都美山	私										○
	京都つくば開成	私										○
	京都芸術大学附属	私										○
	京都明徳	私	○				商業					
	京都両洋	私	○									
	同志社	私	○									
	同志社女子	私	○									
	ノートルダム女学院	私	○									
	花園	私	○									
	東山	私	○									
	平安女学院	私	○									
	洛星	私	○									
	洛南	私	○									
	洛陽総合	私								総合学科		
	立命館	私	○									
	龍谷大学付属平安	私	○									
私立計	31校	30	2	1	1	2	1	2	2	1	6	
公国私合計	60校	52	12	2	2	3	1	6	2	6	7	
山 城	東宇治	府	○									
	菟道	府	○									
	城南菱創	府	単位制	栄養科学 (単位制)								
	城陽	府	○									
	西城陽	府	○									
	京都八幡	府	総合選択制	人間科学〔南〕					介護福祉〔南〕			
	久御山	府	○									
	田辺	府	○			工学探究 機械技術 電気技術 自動車						
	木津	府	○		システム園芸		情報企画					
	南陽	府	○	サイエンスサーチ								
	府立計	10校	10	3	1	1	1	0	1	0	0	0
	京都芸術	私							美術			
	京都廣学館	私	○									○
	京都翔英	私	単位制									
	同志社国際	私	○									
	立命館宇治	私	○									
私立計	5校	4	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
公私合計	15校	14	3	1	1	1	0	2	0	0	1	
口 丹	北桑田	府	○		京都フォレスト						分校 墨間	
	亀岡	府	単位制	探究文理 (単位制)								
	南丹	府								総合学科		
	園部	府	○									
	農芸	府			農業生産 園芸技術 環境創造							
	須知	府	○		食品科学							
	府立計	6校	4	1	3	0	0	0	0	1	1	0
	京都聖カタリナ	私	○						看護			
	公私合計	7校	5	1	3	0	0	0	1	1	1	0

府内公立・国立・私立高校の設置学科等一覧 ③

地域	学校名	設置	全 日 制								定時制	通信制
			学科種別									
			普通科	普通科系専門	農業 農業〔東〕 園芸〔東〕 農芸化学〔東〕	工業	商業	水産	その他 (情報、福祉、体育、 芸術、英語、看護)	総合学科		
中 丹	綾部	府	○								分校 夜間	
	福知山	府	○	文理科学							分校 昼間	
	工業	府				機械・テクノロジー ロボット技術 電気・テクノロジー 環境デザイン 情報・テクノロジー						
	大江	府								地域創生		
	東舞鶴	府	○								分校 夜間	
	西舞鶴	府	○	理数探究								○
	府立計	6校	4	2	1	1	0	0	0	1	3	1
	京都共栄学園	私	○									○
	福知山淑徳	私								総合学科		
	福知山成美	私	○				商業					
	日星	私	○						看護			
	私立計	4校	3	0	0	0	1	0	1	1	0	1
公私合計	10校	7	2	1		1	0	1	2	3	2	
丹 後	宮津天橋(宮津)	府	単位制			建築 (単位制)						
	宮津天橋(加悦谷)	府	単位制									
	海洋	府						海洋科学 海洋工学 海洋資源				
	峰山	府	○			機械製造						
	丹後緑風(網野)	府	単位制				企画経営 (単位制)					
	丹後緑風(久美浜)	府		みらいクリエイ (単位制)	アグリサイエンス (単位制)							
	清新	府									昼間	
	府立計	7校	4	1	1	2	1	1	0	0	1	0
	京都暁星	私	○									
	公私合計	8校	5	1	1	2	1	1	0	0	1	0
総 計	公立合計	57校	43	17	7	5	3	1	5	2	10	2
	国立合計	1校	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	私立合計	42校	39	2	1	1	3	1	5	3	1	8
	国公私総計	100校	83	19	8	6	6	2	10	5	11	10

※令和3年6月作成(令和3年度入学者選抜実施校を掲載)

府立高校の在り方ビジョン(最終案イメージ)

【計画期間: 令和4年度から令和13年度までの10年間】



第1部 府立高校を取り巻く現状と課題

- ① **社会の急激な変化**
人口減少、グローバル化、超スマート社会の到来、ICT利活用の急速な浸透 等
- ② **公立中学校卒業生数の減少**
公立中3生数の一層の減少、高校の小規模化 等
- ③ **公立中学校卒業生の進路状況の変化**
府内私立高校や通信制高校進学者の増加、府立高校の定員未充足の拡大 等
- ④ **生徒の多様化**
求められる選択肢の多様化、定時制・通信制課程の役割の変化、特別な支援を要する生徒の増加 等
- ⑤ **設置学科の状況**
普通科・普通科系専門学科に在籍する生徒の割合の高さ、全国トップの大学進学率、職業学科における地域産業の担い手育成 等
- ⑥ **地域創生における府立高校の役割**
地域への愛着の醸成、地域を支える人材育成への期待 等

第2部 令和時代に対応した京都府の高校教育の在り方

Ⅰ **基本的な考え方** ※本府教育の基本理念・施策推進の視点:「第2期京都府教育振興プラン」(令和3年3月)に基づく。

◎府立高校の果たすべき役割

＜役割を踏まえた高校教育の展開(主な重点内容)＞

- 高校教育の質の確保・向上
- 社会的な自立につながる希望進路の実現
- 府立高校の強みである総合力を活かした高校教育の提供
- 学習指導と部活動や学校行事などの教育活動のバランスの良い高校教育の提供
- 時代の変化と社会のニーズに対応した教育環境のもとでの高校教育の提供
- 地域とともにある府立高校づくり
- 地域産業との連携・地域産業を支える人材の育成

＜府内高校教育における公私協調＞

◎府立高校の魅力を高めるための視点

- 時代の変化を踏まえた学習内容や学習方法等の充実
- 地域との結びつきやスケールメリット等府立高校の強みを活かした魅力化
- 新しい時代の豊かな学びに応えられる教職員の資質向上や体制の整備、施設設備等の教育環境の充実
- 学科の在り方など各高校の特色をわかりやすく見える化
- 生徒の多様なニーズに対応した学びの環境の保障
- 魅力ある高校づくりを進めるために必要な高校の再編整備や入学者選抜制度、学科の在り方など教育制度等の改革に向けた検討

目指す方向性

Ⅱ 魅力ある府立高校づくり <1> 魅力的な学びの充実

1 スクール・ミッションの再定義

- ・府立高校ならではのスクール・ミッションの再定義
(令和4年度中を目途)



5 グローバル人材の育成

- ・外部人材を活用した体験活動や探究的な学びの充実
- ・バーチャルとリアルを併せたハイブリッド留学による世界の学びに触れる機会の拡充
- ・国際バカロレア認定校の導入や教育システムの活用に向けた検討 等



2 新しい時代に応じた探究的な学びや学習スタイルの構築

- ・探究的な学びや教科等横断的な学び(STEAM教育)の充実
- ・生徒1人1台端末を導入した新たな学びの充実
- ・ハイブリッド型の新たな学習スタイルの構築 等



6 教職員の資質能力向上と学校体制等の充実

- ・教職員の研修の充実・人材育成、校内組織の再編・充実
- ・SCやSSW、ICT教育支援員など専門的スタッフの配置
- ・スクールサポートスタッフなど外部人材の活用
- ・校長の同一校在職の長期化など人事異動の在り方検討
- ・働き方改革の推進、優れた教職員の人材確保 等

3 地域・企業・高等教育機関等との連携強化

- ・高校生と地域の架け橋となるコーディネーターの配置
- ・若手プロフェッショナルの育成
- ・大学等との一貫した授業カリキュラム構築
- ・大学教育の先取り履修による単位認定等の検討
- ・多様な高大連携の充実、府立大学附属化の検討 等

7 学びを支える教育環境の充実

- ・生徒1人1台端末の導入に伴う購入支援制度の充実
- ・職業学科の設備整備・更新、寮の再整備の推進
- ・府外からの積極的な生徒募集
- ・多様な生徒の学習ニーズに対応した教育環境の充実
- ・教育環境づくりへの生徒の主体的な参画の推進 等

4 スケールメリットや教育活動のバランスの良さを活かした魅力化の向上

- ・学校の枠を越えた柔軟な教育課程の検討
- ・異なる課程間での単位履修制度の検討
- ・府立高校間での留学制度の検討
- ・学校行事や部活動等の特別活動の活性化 等



8 発信力の強化

- ・小・中学校教員と高校教員による相互交流、連携の強化
- ・高校生と小・中学生との交流活動の推進
- ・SNSやマスメディア等の積極的な活用
- ・府教育委員会ホームページ等の内容の見直し 等



<2> 学科の特色化・魅力化の推進

1 魅力のある新しい普通教育の推進

- ・学科やコースの名称整理、学科の再編等の検討
- ・普通科・普通科系専門学科併設校の学科の在り方検討
- ・中学生や保護者等への効果的な情報発信 等

2 質の高い職業教育と総合学科における学びの充実

- ・高等教育機関等と高校3年間の学びを超えた連携の推進
- ・インターンシップなど企業等との連携強化
- ・職業学科の学科等名称整理、学科再編等の検討
- ・中学生や保護者等への効果的な情報発信 等



<3> 柔軟な教育システムの充実

1 定時制・通信制教育の充実

- ・京都フレックス学園構想に基づく教育システム等の充実
- ・通信制と全日制・定時制課程との併修など柔軟な履修制度の構築
- ・ハイブリッド型の新しい通信制課程の設置検討
- ・特別支援教育の専門性をもつ教員等の配置 等

2 全日制課程の柔軟な教育システムの構築

- ・単位数の見直しや履修条件の弾力化等の検討
- ・生徒の個性や才能を伸ばす柔軟な学習スタイルの検討
- ・普通科と専門学科の併修や学科の異動を可能にする高校づくりの検討 等

Ⅲ 教育制度等の改革

1 地域の実情等を踏まえた府立高校の在り方の検討

- ・魅力ある高校づくりに向けた高校の再編整備の検討
- ・定時制・通信制課程の再編や再配置の検討
- ・生徒ニーズ等を踏まえた学科再編の検討
- ・全国募集制度や寮などの施設整備の検討 等

2 社会情勢等の変化に対応した入学者選抜の在り方の検討

- ・現行の入学者選抜制度の成果と課題を検証・整理し、関係機関と連携してよりよい制度となるよう検討

Ⅳ 今後の進め方

○府教育委員会独自で進められる教育内容等の充実・見直しなどは、次年度以降、計画的に進める。

○教育制度等の改革、関係機関と協議しながら進めていくべきものなどは、必要に応じて会議を立ち上げて検討、あるいは個別の実施計画を策定するなどして進める。

3 特別支援教育の充実

- ・特別支援学校高等部と連携した環境整備
- ・高校教育と特別支援教育との複合的な教育システムや特別支援学級の設置の検討
- ・通級による指導の充実 等

